



定例記者会見資料
令和8年2月3日

「令和7年消防統計（火災・救急・119番通報）【速報値】」の公表

令和7年中の消防統計（速報値）を取りまとめましたので、次のとおり公表します。

1 火災発生状況

火災件数は95件で、前年と比較し8件（9.2%）増加しました。

火災種別では、建物火災が54件（56.8%）で最も多く、火災による死者は3人で全員が65歳以上の高齢者となっています。

ポイント

火災による死者の発生は、高齢者の割合が高くなっています。
このことから、高齢者の「逃げ遅れ」を防ぐために、「住宅用火災警報器」の更なる設置促進に取り組んでいきます。

2 救急活動状況

救急出動件数は15,974件で、前年と比較し58件（0.4%）減少しました。また、市病院協議会や医療機関との連携により、119番通報から病院収容までの時間が2分00秒短縮し、搬送困難事案（現場滞在時間30分以上かつ病院問合せ回数4回以上）が大幅に減少しました。

ポイント

救急需要に適切に対応するため、引き続き医療機関との連携を図ります。また、救急安心センター事業（#7119）の普及啓発を強化し、救急車の適正利用促進及び軽症者搬送割合の低下に努めます。

3 119番通報状況

119番通報件数は20,911件で、前年と比較し613件（2.9%）減少しました。

内訳は、「救急」が15,128件（72.3%）、次いで「問合せ・間違い・いたずら」の4,194件（20.1%）となりました。

ポイント

119番通報のうち、「問合せ・間違い・いたずら」の占める割合が高い状況です。

今後も市民に対し、「消防テレフォンガイド」などの各種サービス利用の周知を図っていきます。

【問い合わせ先】

- ◆予防課：24-3941（火災） ◆警防課：23-7061（救急）
- ◆指令課：22-0123（指令）